

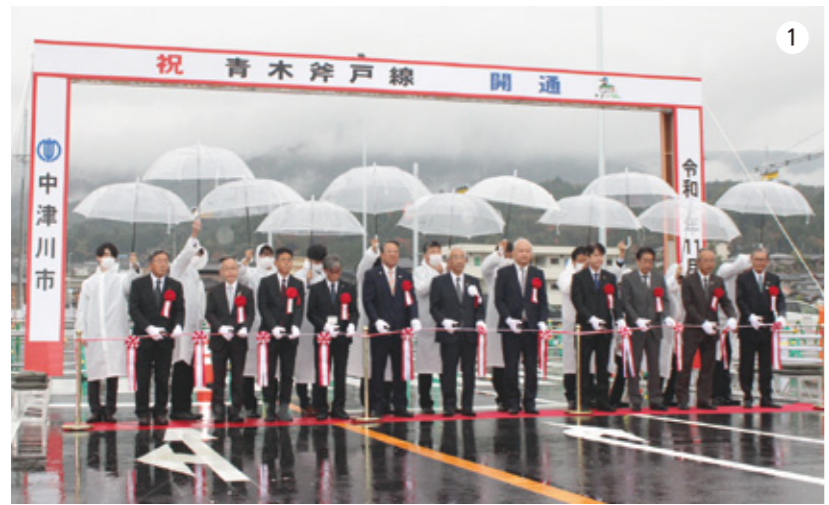
**着工から完成まで**



駒場線完成後  
令和4年10月31日撮影

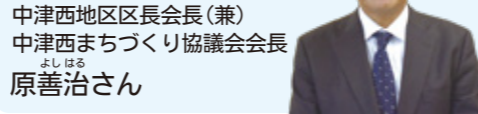
**事業概要** 着工年度：平成26年度 完成：令和4年11月1日 事業費：46億円  
 延長：L=1,855m（青木斧戸線L=1,588m、駒場線L=267m）  
 幅員：W=12~16m（国道257号~国道19号W=16m、国道19号以南、駒場線W=12m）

**11/1 開通式** ①テープカット②③西小学校6年生によるソーラン節④⑤西幼稚園児による中津川おどり



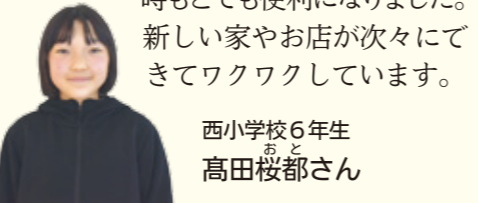
**喜びの声が届きました！**

青木斧戸線の構想は昭和42年からあったと聞きます。竣工までには多くの方の忍耐強い努力と、関係者の皆さんのさまざまな積み重ねがあった事と思います。私たち西地区の住民にとっても、待ちに待った開通です。市の南北を通じる基幹道路の有用性は言うまでもなく、西地区の安全安心が格段にレベルアップしたと感じています。



中津西地区区長会長(兼)  
中津西まちづくり協議会会長  
原善治さん

新しく大きな道ができて、私達の通学路は広くなり、歩道もあるので安心して登下校ができるようになりました。また、バスが学校のすぐ近くまで来られるようになり、修学旅行に出かける時もとても便利になりました。新しい家やお店が次々できてワクワクしています。



西小学校6年生  
高田桜都さん

**特集 青木斧戸線が開通しました**

建設課 (内線276)



青木斧戸線完成後  
令和4年10月31日撮影

**青木斧戸線開通にあたって**  
中津川市長 青山節児

青木斧戸線(市道中津531号線)、駒場線(市道中津532号線)は、都市計画道路として地域から整備の要望を数多く受けてきました。平成13年には、駒場・手賀野地区で建設促進協議会が発足し、建設に向けて地元の機運が高まり、平成26年度から事業着手となりました。

事業着手から9年を経て、地権者をはじめとする関係者の皆様のご理解とご協力により開通を迎えることができました。

本道路の開通により、人やものの動きが促進され、沿線のみならず市内全域の産業振興にも大いに寄与するものと確信しています。

近い将来、リニア中央新幹線が走行する時代にあって、本道路の果たす役割は市内の発展のみならず広域に波及するものであると大きな期待を寄せています。

- ① 交通利便性の向上**  
国道257号青木交差点から国道19号小向井交差点を結ぶことで、駒場から手賀野地区の幹線道路として利用者の利便性が向上するとともに、駅前周辺から郊外へ出るルートとして市街地の混雑解消が見込まれます。
- ② 緊急時の防災道路**  
駒場線を同時に整備したことで、指定避難所である西小学校への大型車両の進入が可能となり、防災道路としての機能が確保されます。
- ③ 歩行者の安心安全**  
歩道の幅を2・5m/3・5mと広くしたことで、通学などの歩行者の安全を確保しました。

